お申込み方法

【事前申込制】

別紙の「参加申込書」に必要事項をご記入のうえ、FAXまたはE-mailにて7月17日(金)までにお申込みください。

FAX : 022 - 264 - 2139

E-mail: contact-family-touhoku@cs.jp.fujitsu.com

【お申込み締切日: 2015年7月17日(金)】

会場のご案内

仙台サンプラザ

く 交通のご案内>

- ·JR仙台駅東口より徒歩約13分
- ・地下鉄仙台駅より徒歩約23分
- くJR仙台駅からの交通ご案内>
- ◇JR仙石線ご利用(JR仙台駅9·10番線乗り場) 松島海岸・石巻方面行電車(各駅停車)で 榴ヶ岡駅下車(約3分)

入口2を出てすぐ(雨に濡れず会場に入れます)

◇市営バスご利用

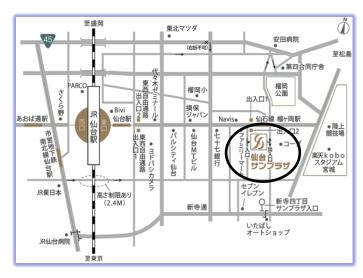
JR仙台駅西口バスプール4番のりばから、 鶴巻小学校行き他に乗車し、

新寺四丁目サンプラザ入口下車(約10分) 徒歩で約5分

7 983 - 0852

宮城県仙台市宮城野区榴岡5丁目11-1

TEL: 022 - 257-3333 (代表番号)



【お問合せ先】

FUJITSUファミリ会東北支部事務局

[富士通㈱ 東北支社 東北ビジネス推進部内]

〒980-0811宮城県仙台市青葉区一番町2-3-22(仙台ビルディング)

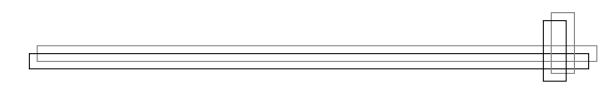
TEL: 022-264-5916(直通) FAX: 022-264-2139

ホームページ: http://jp.fujitsu.com/family/sibu/touhoku/

E-mail: contact-family-touhoku@cs.jp.fujitsu.com



地域活性サマーフォーラム



FUJITSUファミリ会 東北支部 富士通株式会社

ごあいさつ

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申しあげます。

平素はFUJITSUファミリ会の活動に、ご支援・ご協力を賜り厚く御礼申しあげます。

さて、このたび ファミリ会東北支部では、前進する東北の未来に向け、自然との共生の中で 「地方にある世界の港町」を目指す 気仙沼市の菅原市長、女性目線で誘客促進と地域活性を目 指す 気仙沼つばき会 髙橋代表を講師にお迎えし『地域活性サマーフォーラム』を開催いたし ます。

ご多用の折とは存じますが、万障お繰り合わせのうえ、是非ご来場賜りますよう、よろしく お願い申しあげます。

敬具

開催概要

FUJITSUファミリ会 東北支部長 小野木 克之 (株式会社河北新報社 取締役総務局長) 富士通株式会社 東北支社長 中三川 和則

□ 日 時: 2015年7月23日(木)14:30より

[受付開始 14:00]

□場 所 : 仙台サンプラザ 3階 クリスタル

宫城県仙台市宮城野区榴岡五丁目11-1 TEL: 022-257-3333 (代表番号)

□ 参加費用 : 無料

プログラム

開会挨拶 FUJITSUファミリ会東北支部長 小野木 克之 $14:30\sim14:50$

(株式会社河北新報社 取締役総務局長)

富士通挨拶 富士通株式会社 執行役員常務 北岡 俊治

14:50~17:30 特別講演

講演|「東日本大震災から4年 ~被災地 気仙沼の挑戦~」

気仙沼市長 菅原 茂 氏

講演 || 「気仙沼つばき会の活動が支持されるわけ」

気仙沼つばき会 代表

有限会社たかはし 代表取締役 髙橋 和江 氏

18:00~19:00 レセプション(立食形式)

当日はロビー、レセプション会場内にて、気仙沼の食・観光をテーマに展示、マルシェなど実施予定です。

気仙沼市長 菅原 茂 氏

(すがわら しげる)

く略 歴>

1980年 東京水產大学(現東京海洋大学)水產学部卒業

1980年 株式会社トーメン(現豊田通商)勤務

(うち 1987年~1991年 オランダ王国ロッテルダム駐在)

1992年 株式会社菅長水産勤務

2007年 自由民主党宫城県第6選挙区支部

(小野寺五典事務所)勤務

2009年 衆議院議員小野寺五典氏公設第一秘書

2010年 第2代気仙沼市長就任

2014年 第 3 代気仙沼市長就任



気仙沼つばき会 代表 有限会社たかはし

代表取締役 髙橋 和江 氏 (たかはし かずえ)



1959年生まれ

2008年より活動を開始した気仙沼のおもてなしを考える会『気仙沼つばき会』2代目会長。この会は女性だけの任意の団体で震災前より、内外の皆さんと気仙沼を楽しみたいという思いで『出船おくり』や『市場で朝めし』などのイベントを企画、開催している。一昨年出した『漁師カレンダー』は全国カレンダー展にて経済産業大臣賞を受賞。有限会社たかはし 代表取締役。

気仙沼で着物屋を営みつつオリジナル和装下着を作りだし、肌着メーカーとして全国的な 知名度に。着物まわりの肌着や小物を商品化し、着物を愛する人から絶大な支持を得ている。

